

尼崎市教育委員会 9月定例会 議事録

1 開会及び閉会の日時

平成28年9月26日 午後4時05分～午後4時39分

2 出席委員及び欠席委員

出席委員 教育長	徳田耕造
教育長職務代理者	濱田英世
委員	仲島正教
委員	磯田雅司
委員	徳山育弘

3 出席した事務局職員

教育次長	高見善巳
教育次長	西川嘉彦
管理部長	尾田勝重
施設担当部長	富永謙一
学校運営部長	梅山耕一郎
学校教育部長	平山直樹
社会教育部長	舟本康弘
企画管理課長	牧直宏
歴博・文化財担当課長	益田日吉

日程第1 議事録の承認

日程第2 協議・報告事項

(1) 富松城跡の取得について

(2) 東富松遺跡B(第20次)発掘調査の成果と現地説明会の開催について

日程第3 教育長の報告と委員協議

午後4時05分、教育長は開会を宣した。

徳田教育長 それでは、これより日程に入ります。
日程第1の「議事録の承認」について、報告を求めます。

企画管理課長 8月定例会議事録につきましては、先般ご送付いたしておりますとおりでございます。よろしくお願いいたします。

徳田教育長 報告は終わりました。報告内容に質疑はありませんか。

徳田教育長 質疑がないようですので、これよりお諮りいたします。
8月定例会議事録を報告のとおり承認することに異議ございませんか。

教育委員 異議なし

徳田教育長 異議なしと認めます。
よって議事録は、報告のとおり承認することにいたします。

徳田教育長 次に、日程第2「協議・報告事項」に移ります。
「富松城跡の取得について」を議題とします。
提案理由の説明を求めます。歴博・文化財担当課長。

歴博・文化財担当課長 資料16ページをお開き願います。それでは、「富松城跡の取得について」ご報告させていただきます。

まず、「富松城跡の概要」につきましては、既にご承知のことかもしれませんが、市内富松町2丁目に所在し、今から約500年前の戦国時代に、阪神間を舞台に繰り広げられた戦乱を今に伝える数少ない歴史遺産であります。次に、「これまでの経過」につきましては、この富松城跡の堀と土塁の跡が残る1,300㎡余りの土地は、元々民有地でございましたが、平成12年に発生しました相続により、翌年、国に物納され、国有地となったことから、競売により消滅するのではないかとの危機感を抱いた地元住民らが中心となって「富松城跡を活かすまちづくり委員会」が結成されました。同まちづくり委員会では、市に対し、保存に向けた国への対応を要望されるとともに、城跡周辺の清掃活動や子どもたち向けの七夕まつり、動植物の観察会などの現地での各種イベント、大人向けの講座、講演会、まち歩きなど、富松城跡の保存と活用の取組みを長年続けられています。こうした活動を受け、市では、この土地を所管している財務省近畿財務局神戸財務事務所に保存を願う地域住民の思いと取組みについてお伝えしてまいりました。こうした地元の取組み等について、国もご理解いただき、これまで競売手続きを保留いただくとともに、平成17年度からは市が当該地の管理を国から受託することで、地域住民との協働による保全と活用を図ってまいりました。しかし、国にとってこの土地は、物納物件であり、換価処分せねばならない土地であることから、市での一括購入を求められましたが、市としてはそれに対応できる状況にないことから、平成21年度には土地の交換を含めた処理方策について国から提案いただき、市有地との交換を軸に協議を続けてきたところでございます。これまで、いくつか物件をお示しするなど協議して参りましたが、なかなか見合いの土地を見出すことができず、協議の方もさほど進展することなく、管理委託からでもすでに10年以上が経過し、国から早期解決を強く求められる状況となっておりますが、昨年10月の教育委員会定例会にて、ご報告させていただきましたとおり、本年3月末日にて用途廃止となりました交通局出屋敷休憩所跡地を交換候補物件として協議することとし、本年4月から具体的な交渉を進めてまいりました。その結果、富松の評価額が1億4,600万円、出屋敷の評価額が1億4,400万円となり、差額の200万円を市が支出することとして、交換契約を本年9月14日に締結し、10月7日に所有権移転登記完了の見通しとなっております。今後は、市有地として地域の皆さまとともに適切に管理するとともに、歴史遺産を活かした市民との協働のまちづくりに資するべく活用を図ってまいりたいと考えております。

以上、要点のみの説明ではございますが、「富松城跡の取得について」ご報告させていただきました。

徳田教育長 報告は終わりました。これより質疑に移ります。発言はございませんか。

濱田委員 現場の現在の状況と、市民の方と連携した活用方法の今後の方向性はどうか。

歴博・文化財担当課長 まず、現在の状況でございますが、資料 20 ページをお開きください。西武庫園田線と道意線が交わる交差点の南東角に城跡があり、高さ 4 m・長さ 50m・幅 10mあります。戦国時代のものであるため、石垣はなく、城の周りに堀を作り、その時に出た土を盛り上げて堤を作ることで城を防御していました。その土を盛り上げて作った堤を土塁と言います。このような大規模な土塁が都市部に残っているのは兵庫県下でも稀な事例で、歴史的にも高い評価をいただいています。

先ほどご説明いたしました「富松城跡を活かすまちづくり委員会」の取り組みは、全国的にみましても先進的なもので、文化庁のホームページでも紹介されており、各方面から注目されています。こうしたことに国もご理解いただき、市が当該地の管理を受託することで保留が図られてまいりました。これからも富松城跡を活かすまちづくり委員会と連携して市民との協働の取り組みを進め、引き続きまちづくりに資していきたいと考えております。市有地ではなかったことでこれまでできなかった投資が、今回の取得でできるようになったことから、歴史的な価値だけでなくそれ以外の価値も活かした保存と活用について市民の皆さまとともに考えていきたいと思っております。

徳田教育長 他に質疑はございませんか。

徳田教育長 質疑がないようですので、本件についての報告は終わります

徳田教育長 続いて、「東富松遺跡B(第20次)発掘調査の成果と現地説明会の開催について」を議題とします。

提案理由の説明を求めます。歴博・文化財担当課長。

歴博・文化財担当課長 資料 18 ページをお開き願います。それでは、「東富松遺跡B(第20次)発掘調査の成果と現地説明会の開催について」ご報告させていただきます。

まず、「遺跡名」は「東富松遺跡B」、「調査の場所」は「富松町3丁目1403番」、次の「調査地点位置図」をご覧ください。先程ご報告させていただきました、今回国から取得することになりました「富松城跡土塁」と表記された土地から、県道を隔てた北側の土地で「調査地点」と表記し、斜線で示された場所でございます。「調査に至る経過及び調査期間・スケジュール」といたしましては、東富松遺跡Bの範囲内にあたる当該地において店舗の建設が計画されたため、6月8日～10日にかけて、確認調査を行い、遺跡の状況を把握しました結果、建築工事に伴う掘削が地下の遺跡に影響を及ぼす部分について、記録を保存するため発掘調査を実施することになったものでございます。発掘調査は7月28日から開始し、10月7日の完了を予定いたしております。

次に「これまでの調査成果」ですが、この遺跡の発見は昭和44年～50年度にかけて尼崎市教育委員会が実施しました市内埋蔵文化財分布調査で、当時農地であった当該

地付近から陶磁器・瓦片等が採集されたことによるもので、その後長らく農地として使用されてまいりましたが、平成5年、今回の調査地の東側、調査地点位置図で（C地点）と表示された土地において、マンション建設に先立つ発掘調査において、室町時代から戦国時代にかけての堀・井戸・土坑等を検出し、初めて遺跡の様相が明らかになりました。更に、平成16年には今回の調査地の東（B地点）において店舗建設に先立つ発掘調査では、鎌倉時代から室町時代の掘立柱建物・井戸・土坑等を検出しております。こうしたこれまでの調査により、東富松遺跡Bは鎌倉時代から室町時代にかけて、掘立柱建物・井戸等を伴う屋敷地として土地利用されていたことが確認されています。

次に「今回の調査成果」ですが、添付の「遺構配置図」にお示ししましたとおり、主に建物外周の基礎工事部分のみの調査で面的な遺構の広がりをつかみにくい状況ではございますが、北端から東西方向に続く堀、調査区の南を中心に井戸（7基）、調査区東半部を中心に土坑（45基）・調査区のほぼ全域から建物に伴う柱穴とみられるピット（約300基）と多数の遺構を検出し、各遺構からは13世紀から16世紀にかけての土器・陶磁器・瓦などが出土しました。今回、最も大きな発見は、富松城の北辺防御のために設けられたと考えられる堀跡を東西方向に約31mにわたって検出したことで、堀は鎌倉時代に掘られた比較的幅の広い溝状のものが徐々に埋まった後、16世紀前半までに深く大規模に掘られたようで、16世紀末には埋まっていたとみられることです。また、これに関連して、今回の調査では、北端の堀を除いて、いずれの遺構も14世紀中頃から15世紀前半のものともみられ、富松城が城館として本格的に整備される15世紀中頃以前の遺構ばかりであったことから、富松城の本格的整備の時期を境に、この付近の土地の利用形態が大きく変化したものとみられます。富松城が歴史の表舞台に登場するきっかけの時期にあたと想像できます。今後、調査が進む中でこの地域の歴史が明らかになるのではないかと考えております。

最後に、発掘調査の現場を公開するとともに、発見しました遺構及び遺物について、これまでの調査の成果も踏まえて担当者が解説する「現地説明会」を10月1日（土）午後2時から2時間程度の予定で開催すべく準備を進めているところでございます。

以上、要点のみの説明ではございますが、「東富松遺跡B（第20次）発掘調査の成果と現地説明会の開催について」ご報告させていただきました。

徳田教育長 報告は終わりました。これより質疑に移ります。発言はございませんか。

徳山委員 現時点で調査していない箇所があるのなぜか。

歴博・文化財担当課長 敷地内で調査の対象外の箇所は、建設時に深く掘る予定がなく、遺跡に影響を与えることがない箇所です。もし、工事内容が変更となり、深く掘ることになった場合には、新たに調査対象となります。

濱田委員 A～C地点には集落があったのか。

歴博・文化財担当課長 瓦が多く出土していることから、寺または寺に付随する建物があったのではないかと推測されます。

徳田教育長 A～C地点以外に発掘調査を行っている場所はないのか。

歴博・文化財担当課長 今回の調査地の北に福祉施設がありますが、その建設時の調査では、今回の発掘調査で見つかった遺構の年代とは全く違う年代の遺構が見つかっています。その時に見つかった遺構は約1,800年前と弥生時代の建物跡であり、今回の遺構とは関連のないものと思われます。

濱田委員 「土坑」とはなにか。

歴博・文化財担当課長 土坑とは、大きな穴のことで、ゴミ捨て用の穴や水だめに使われた穴などがあります。ピットとの違いは、穴の大きさで、ピットは小さい穴、土坑は大きい穴ということになります。

徳田教育長 他に質疑はございませんか。

徳田教育長 質疑がないようですので、本件についての報告は終わります。

徳田教育長 次に、日程第3「教育長の報告と委員協議」に移ります。

企画管理課長 教育委員会9月定例会報告事項について、平成28年8月23日から本日9月26日までの主要行事および10月の主要行事予定を報告します。

(総務関係)

9/1 平成28年度 尼崎市総合防災訓練

9/2 文教委員 施設視察(園和幼稚園・園田東中学校・園田東小学校)

9/5 第10回政策推進会議(平成29年度予算編成方針について ほか)

9/12 9月市議会定例会

～10/5 ・9/12 本会議(提案理由説明等)

・9/13～15 本会議(一般質問)

・9/21, 23, 26 決算特別委員会(9/26 教育委員会事務局)

・9/28～30 常任委員会(9/29 文教委員会)

・10/5 本会議(委員長報告、採決)

9/20 第11回政策推進会議

(地域いきいき健康プランあまがさきの策定に係る「基本情報」及び「政策形成プロセス計画書」の公表について)

9/26 教育委員会9月定例会

(学校教育関係)

8/29 2学期始業式(中学校)

9/1 2学期始業式(小学校、高等学校、幼稚園、特別支援学校)

第1回いじめ問題対策審議会

(社会教育関係)

8/30 夏期巡回ラジオ体操 みんなのラジオ体操会

8/31 教育長表敬訪問(全国中学生ウエイトリフティング大会結果報告)

(10月主要行事予定表)

10/3 第12回政策推進会議

10/5 本会議(委員長報告、採決等)

10/8 市制100周年記念式典

10/8・9 100周年記念事業 第45回尼崎市民まつり

10/16 100周年記念ハーフマラソン

10/19 こども青少年本部会議

10/20 第13回政策推進会議

10/24 教育委員会10月定例会

報告は以上です。

徳田教育長 報告内容に質疑はありませんか。

徳田教育長 他に質疑はございませんか。
質疑がないようですので、教育長からの報告を終わります。

徳田教育長 以上を以って、本日の日程は全部終了いたしました。
これをもって、尼崎市教育委員会9月定例会を閉会いたします。

(閉会 午後4時39分)

尼崎市教育委員会9月定例会において、以上のとおり議事が行われたことを記録します。